

1. 第17回日本丸マスターズ

箱根湯の花高原、快晴・無風、紅葉も最高。11月12日(月)第17回のゴルフ大会は、天候に恵まれ素晴らしい一日となりました。

ここ3回は箱根で開催していますが、名物の霧に悩まされることもなく、晴天続きでラッキーです。参加の面々は、写真の9名。残念ながら川島さんが直前に突き指をされて欠席でした。



9:45紅葉の山々を眺めながらスタート。途中どなたかのスパイクのソールが剥がれるというハプニングもありましたが、和気藹々と英気を養いました。

順位	氏名	Out	In	GRS	HDCP	NET
優勝	佐藤 精吾	41	46	87	15.2	71.8 BG
準優勝	米岡 泰	48	51	99	26.0	73.0 NP
第3位	松山 英明	51	50	101	22.4	78.6
第4位	伊藤 隆輔	55	52	107	27.2	79.8
第5位	山路 永司	60	54	114	33.2	80.8 NP
第6位	久保井敬二	64	57	121	36.0	85.0
第7位	原田 實	65	60	125	36.0	89.0
第8位	小永井 晃	62	65	127	36.0	91.0 BB
第9位	本間 英臣	75	61	136	36.0	100.0

優勝は、豪快に飛ばした佐藤さんです。おめでとうございました。帰りはウイークデイにもかかわらず、紅葉狩りの車で大変な渋滞でしたが楽しい一日でした。

また来年5月頃開催しますので、是非団員の皆様もご参加下さい。余り費用をかけないように、昼食込み1ラウンド一万円前後のコースを探して実施しています。(報告担当 小永井)

2. 登山部幕山ハイキング報告

11月23日(勤労感謝の日)、無風・晴天のハイキング日和。精鋭5名(伊藤、小永井、椎野、本間、山本)は湯河原駅前に集合。地元のお年寄りや、ロック・クライミングが目的のパーティと一緒にバスを待つ。彼等のザックはザイル、ハーケン、カラビナ等で膨らんで大きい。足下はサンダル履き。岩場に着いたらクライミングシューズに履き替えるので、当人達はダンディ・ファッションのつもりようです。

午前10時発の路線バスに乗車、終点の幕山公園着10:15。紅葉に色付き始めた木々を背景に幕山の岩場が立派に見える。舗装道路をのんびり

歩いて幕山登山口着10:30。公園管理棟にはボランティアの人達が詰めていて、缶ビール(500)、みかん(一袋300)、梅干し(500)等の販売やコースの紹介をしてくれる。

クライミングにチャレンジするパーティを横目に見ながら、遊歩道を兼ねたジグザグ状の登山道をゆっくり登り、中腹にある東屋で10分間の休憩(11:00~11:10)。真鶴半島と初島は眼下に見えるが、伊豆大島にはうっすらと霞がかかっている。

ドライブにきた駄賃に頂上を目指す若いカップルと、抜きつ抜かれつしながら更に登り、幕山着11:40。山頂は台地状で、いくつかのパーティが昼食や日向ぼっこを楽しんでいる。

歩き始めて1時間半足らず、チョッと物足りないが我々も弁当にする。今回はコンロも持参しなかったが、小春日和の山頂で、持ち寄りの貴重なおかずをご馳走になりながら、ビール、日本酒、ワインを空けての会食で、楽しく美味しくいただいた。

何時の間にか山頂も空いてきたので下山を開始12:45、自鑑水方面への路を北に降る。下山路は公園のように整備され、落ち葉を踏んで快適に歩けるが、すぐに大石ヶ平へのルートが分岐するので左折する。ここからの下山路もよく刈り払いされているが、部分的に10月27日の(例のタイ・フェアの際に遭遇した)台風の影響を受けて荒れている。

世間話をしながら休まずに降り、大石ヶ平13:30、一の瀬13:45。ここからは幕山公園の領域内といえるので、秋山の雰囲気味わいながらのんびり歩く。しかし10分足らずで幕山登山口に着いてしまう13:55。歩き足りないc。

本間さん、小永井さんのお二人が近辺の地理をよくご存知で、「ゆとろ嵯峨沢の湯」までは歩ける距離のようだが、それよりも早く一風呂浴びて、飲みたいc。

本間さんが電話で交渉・手配。15分も待たずに、迎えの無料マイクロバスが幕山公園に到着。

14時45分には「ゆとろ嵯峨沢の湯(入浴料1050)」の露天風呂で、「終日のたりのたかな」の太平洋を眺めながら、湯滝に打たれていた。

入浴後、付属の「和食お食事処」で反省会。板わさ、刺身、天麩羅、どんぶり飯、何れも美味。ビールと冷酒の量もすすむ。

反省会打上げ後、マイクロバスで湯河原駅まで送って貰う途中、吉浜地区の(本間さん推奨の)地魚販売店で土産を購入。少し歩き足りなかったが、全員満ち足りた思いで、帰途についた。

(T2 椎野)

[編集後記]

マスターズの直前、イタリア出張の際にジェノア(ジェノヴァ)に寄りました。コロンブスの生まれ故郷であり、中世?の大商業都市ですが、港には海を楽しむ人々の舟(ヨット、大型客船)および海の安全を守る組織の舟(艦船)が多く見られました。帆船は大航海時代初期の舟を復元したらしいのが1艘、繋留していました。

登山部ハイキングは写真が間に合わなかったため、次回に載せたいと思います。皆さま、良い新年を。(B2:山路)